

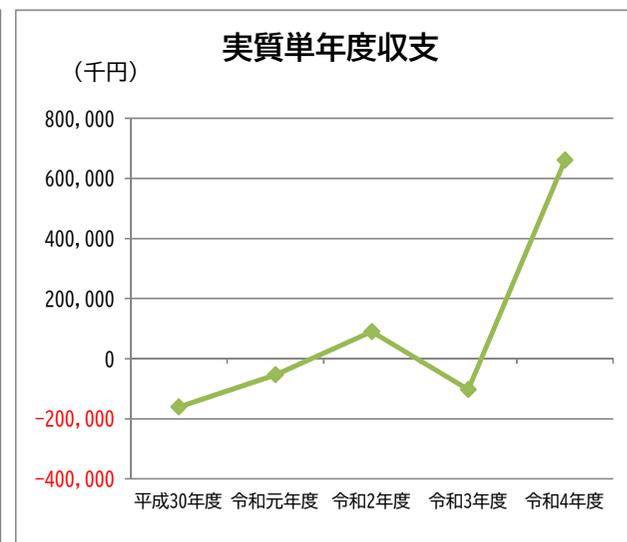
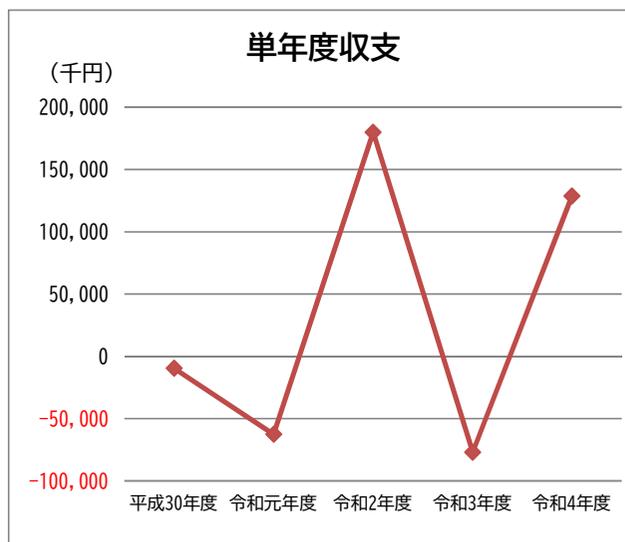
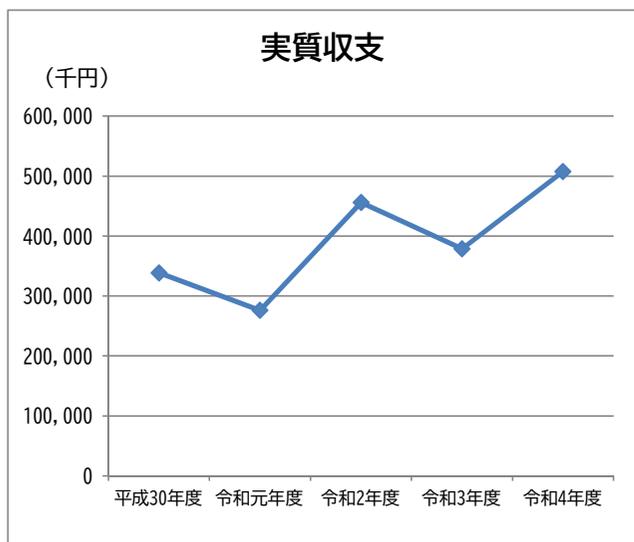
実質単年度収支の推移

実質単年度収支は、単年度収支から実質的な黒字要素（財政調整基金積立金、地方債繰上償還額）や赤字要素（財政調整基金取崩額）を加減したもので、当該年度における実質的な収支を把握するための指標です。

(単位：千円)

年 度	歳入決算額(A)	歳出決算額 (B)	歳入歳出差引額 (A) - (B) (C)	翌年度に繰り 越すべき財源 (D)	実質収支 (E) (C) - (D)	単年度収支 (F)	積立金 (G)	繰上償還金 (H)	積立金取崩額 (I)	実質単年度収支 (J) (F)+(G)+(H)-(I)
令和4年度	17,180,945	16,540,169	640,776	133,367	507,409	128,804	439,665	93,091	0	661,560
令和3年度	16,617,561	16,034,297	583,264	204,659	378,605	△ 77,115	243,384	0	269,141	△ 102,872
令和2年度	18,531,057	17,889,613	641,444	185,724	455,720	179,876	156,657	0	246,524	90,009
令和元年度	14,747,904	14,329,262	418,642	142,798	275,844	△ 62,639	328,390	0	319,509	△ 53,758
平成30年度	15,728,098	15,296,206	431,892	93,409	338,483	△ 9,688	278,362	0	429,562	△ 160,888

令和4年度につきましては、歳入では、地方税、ふるさと応援寄付金、企業版ふるさと寄付金など、自主財源が増収し、前年度に比べ3.4%の増となりました。歳出では、新型コロナウイルス感染症対応や物価高騰による経済対策、生活支援に関する事業の実施、また、公債費の繰上償還や財政調整基金等への積立などにより前年度に比べ3.2%の増となりました。実質単年度収支は、実質収支の増に加え、積立金の増額や繰上償還を実施したことに伴い黒字となりました。今後も、収入確保や各種事業、公共施設のあり方等の見直しを進め、尚一層健全な財政運営に努めていきます。



- 【参 考】
- 実質収支 = 歳入歳出差引額 - 翌年度に繰り越すべき財源
 - 単年度収支 = 当年度実質収支 - 前年度実質収支
 - 実質単年度収支 = 単年度収支 + 積立金 (財政調整基金) + 繰上償還額 - 基金取崩額 (財政調整基金)